

各 位

会 社 名 株 式 会 社 倉 元 製 作 所  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 聡  
( J A S D A Q ・ コ ー ド 5 2 1 6 )  
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 本 部 長 関 根 紀 幸  
電 話 0 2 2 8 3 2 5 1 1 1

## 特別損益の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 12 月期中間決算において下記のとおり特別利益および特別損失を計上することとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 20 年 5 月 19 日付当社「平成 20 年 12 月期 第 1 四半期財務・業績の概況」にて公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 特別利益ならびに特別損失の発生およびその内容

##### [ 特別利益 ]

###### 固定資産売却益

平成 20 年 5 月 19 日付「特別利益の発生および平成 20 年 12 月期（連結・個別）中間期・通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、BM 膜成膜装置ならびに BP センター（北上市）の譲渡に係る固定資産売却益 371 百万円を第 1 四半期の連結および個別の特別利益に計上いたしましたが、装置搬出にかかる費用等が発生したため、中間期末において 23 百万円減額し固定資産売却益を 348 百万円に修正します。

###### 貸倒引当金戻入益

平成 20 年 5 月 19 日付「特別利益の発生および平成 20 年 12 月期（連結・個別）中間期・通期業績予想の修正に関するお知らせ」により、個別中間期末の特別利益に当社子会社(株)倉元マシナリーに係る貸倒引当金戻入益 346 百万円を計上予定と公表しておりましたが、貸付金等が全額回収となったため 66 百万円増額し 412 百万円に修正します。

なお連結決算においては消去となるため、貸倒引当金戻入益の計上はありません。

##### [ 特別損失 ]

###### 関係会社支援損失引当金繰入額

当社子会社(株)倉元マシナリーが債務超過となったため個別の特別損失に関係会社支援損失引当金繰入額として 28 百万円を計上します。

なお、連結決算においては消去となるため、関係会社支援損失引当金繰入額の計上はありません。

## 2. 中間業績予想の修正

### 修正内容

平成 20 年 12 月期の連結中間業績予想（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）

〔連結〕

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前 回 予 想 (A) (平成 20 年 5 月 19 日公表)	11,700	300	240	520	52 円 56 銭
今 回 修 正 (B)	12,029	483	414	595	60 円 14 銭
増 減 額 (B - A)	329	183	174	75	-
増 減 率	2.8%	61.0%	72.5%	14.4%	-
(ご参考) 前年同期実績 (平成 19 年 12 月期中間期)	14,710	163	105	2,210	234 円 24 銭

平成 20 年 12 月期の個別中間業績予想（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）

〔個別〕

（単位：百万円）

	売上高	加工売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前 回 予 想 (A) (平成 20 年 5 月 19 日公表)	9,300	5,300	180	100	790	79 円 85 銭
今 回 修 正 (B)	9,552	4,897	208	145	871	88 円 04 銭
増 減 額 (B - A)	252	403	28	45	81	-
増 減 率	2.7%	7.6%	15.6%	45.0%	10.3%	-
(ご参考) 前年同期実績 (平成 19 年 12 月期中間期)	9,175	6,349	437	512	2,008	212 円 83 銭

### 修正理由

連結中間業績予想につきましては、ガラス基板加工販売事業の業績が堅調に推移したほか、精密研磨布等製造販売事業におけるハードディスク向け精密研磨布の販売が好調であったため、売上、利益ともに予想を上回る見込みであります。

個別の売上高および加工売上高におきましては、材料有償支給製品のカラーフィルタ基板加工品が増える一方で成膜事業の落ち込み等の影響もあり、予想時に比べ売上高は上回るものの加工売上高は未達となる見込みであります。

また、個別の中間純利益は、前述の「1. 特別利益ならびに特別損失の発生およびその内容」のとおり、特別損益の修正および計上により予想に対し 81 百万円増加する見込みであります。

なお、連結中間純利益が個別中間純利益と比べて大幅な減額となっているのは、個別に計上した貸倒引当金戻入益等が連結決算では消去されるためであります。

### 3. 通期業績予想の修正

#### 修正内容

平成 20 年 12 月期の連結通期業績予想（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）

〔連結〕

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A) (平成 20 年 5 月 19 日公表)	23,000	600	450	630	63 円 69 銭
今回修正(B)	23,000	600	450	630	63 円 69 銭
増減額(B-A)	0	0	0	0	0
増減率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(ご参考)前年同期実績 (平成 19 年 12 月期)	30,044	917	481	3,192	330 円 27 銭

平成 20 年 12 月期の個別通期業績予想（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）

〔個別〕

（単位：百万円）

	売上高	加工売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A) (平成 20 年 5 月 19 日公表)	18,500	10,400	360	200	840	84 円 91 銭
今回修正(B)	18,500	10,400	360	200	890	89 円 96 銭
増減額(B-A)	0	0	0	0	50	0
増減率	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0%	0.0
(ご参考)前年同期実績 (平成 19 年 12 月期)	19,467	10,480	276	415	4,917	508 円 80 銭

#### 修正理由

サブプライムローン問題に端を発したアメリカの景気後退や原油価格の高騰および物価上昇などにより景気の先行き不透明感が増す中、電子部品業界では購買意欲減退による今後の需要の伸び悩みが懸念されております。

通期の業績予想につきましては、こうした懸念材料に加え、エネルギーコスト・原材料価格の上昇によるコストアップ要因等を考慮し、連結通期業績予想の変更は致しません。個別通期業績予想につきましては売上高・営業利益・経常利益の各項目の変更はないものの前述の貸倒引当金戻入益などの特別利益の計上により、個別の当期純利益の予想を 840 百万円から 890 百万円に修正いたします。

以上